



島の面積，林の面積，牛馬数，農間余業などが記録されている。

一方，明治3（1870）年10月，神奈川県も「戸籍編製規則併雛形」を村々の名主に布達して，「戸籍」作成に着手した。同年12月に神奈川県各村々が作成した「戸籍」には，世帯ごとに構成員の姓名，年齢，筆頭者との続き柄，異動，田の面積と高，畑の面積と高，山林の面積と高，牛馬数，農間余業が記録されている。1カ村の「戸籍」が，平民族戸籍，社務戸籍，寺院戸籍，来住並奉公人仮戸籍から構成されている点も編製上の特色である。

若松縣と神奈川県明治3年「戸籍」には，史料作成以前に他家に移動した者が，生家と移動先の家に二重登録されるという際立った特色を持つ。そのため，明治3年「戸籍」は，幕末維新时期における人口移動の地域的特色を復原するうえでも貴重である。他方，若松縣と神奈川県「戸籍」には，姓の有無，宗教・宗派や旦那寺に関する記録の有無，田畑や山林の高に関する記録の有無などの点で，記載内容や書式に大きな差異が認められる。

### 3. 「幕末維新时期人口史料」分析システム

#### 3. 1. システムの構成

DANJURO ver.4.0 は，「宗門改帳」分析システム，「過去帳」分析システム，「幕末維新时期人口史料」分析システム，古文書文字の認識，研究費・研究成果・受賞歴，および関連サイトへのリンクから構成されている[1]。

現在開発を進めている「幕末維新时期人口史料」分析システムは，「幕末維新时期人口史料」データベース，古文書史料から人口学的指標を算出する「幕末維新时期人口史料」分析プログラム，および検索利用マニュアルから構成されている。

本システムは，HP ProLiant ML150 G3 をサーバ機とデータベース機，Microsoft Windows 2003 R2 を OS，Oracle Database 10.2.0.1 を DBMS，Oracle Internet Application Server 10.1.3.2 を Web Server として構築・運用されている。本システムを利用するには，Internet Explorer 8.0 以上，または Firefox 3.6 以上，および，Excel 2003 以上を利用者側コンピュータに準備する必要がある。

本システムに蓄積されている史料には，個人を特定できるものも含まれているため，二重の認証画面を設け，利用申請を行った研究者だけにユーザー名とパスワードを発行して，利用を制限している。平成12年3月から平成22年11月15日に至る10年間にわたる DANJURO のヒット件数は，20,600 件を超

え，国内外の30人以上が利用登録を行っている。

DANJURO ver.4.0 の URL は次に示される。  
<http://kawaguchi.tezukayama-u.ac.jp>

#### 3. 2. 登録史料

現在，「幕末維新时期人口史料」データベースには，延べ70カ村，18,756人，2,810世帯が登録されている（表1）。

登録史料の内訳は，明治3（1870）年から明治11（1878）年に作成された若松縣会津郡と大沼郡に所属する延べ30カ村，3,922人，690世帯，明治3（1870）年に作成された神奈川県多摩郡日野宿組合村々37カ村，14,022人，2,001世帯，大住郡に所属する1カ村，435人，64世帯，都筑郡に所属する1カ村，187人，28世帯，および足柄上郡に所属する1カ村，190人，27世帯である。

#### 3. 3. 「幕末維新时期人口史料」データベース

「幕末維新时期人口史料」データベースは，個人情報テーブル，世帯情報テーブル，および史料書誌情報テーブルから構成されている[2]。以下に示すデータ項目のうち，アンダーラインを付したデータ項目が数値データ，それ以外は文字データである。国外の利用者に対応するため，UTF-8 を本データベースの文字コードとした。

ア) 個人情報テーブル…集落名(国郡村)，緯度，経度，西暦，世帯番号，個人番号，名前(ローマ字)，名前(漢字)，性別，年齢，生年月日(和暦)，生年月日(西暦)，筆頭者との続き柄，配偶関係，宗教・宗派，旦那寺，旦那寺の所在地，異動事項，異動の発生した年月日(和暦)，異動の発生した年月日(西暦)，異動内容。

イ) 世帯情報テーブル…集落名(国郡村)，緯度，経度，西暦，世帯番号，筆頭者名(ローマ字)，筆頭者名(漢字)，家族人数(男性)，家族人数(女性)，下男人数，下女人数，同家人数(男性)，同家人数(女性)，世帯規模，世帯構造，家族外同居者，同居世代数，牛数，馬数，田の面積，田の石高，畑の面積，畑の石高，屋敷地の面積，屋敷地の石高，山林の面積，山林の石高，持高，農間余業，氏神。

ウ) 史料書誌情報テーブル…集落名(国郡村)，西暦，史料作成年月日(西暦)，史料作成年月日(和暦)，史料名，史料作成者，史料所有者。

「幕末維新时期人口史料」データベースのユーザー・インターフェースは，個人情報，世帯情報，史料書誌情報の各テーブルに対応す

表1 「幕末維新期人口史料」データベースに登録されている史料

集落名	史料作成年月	史料名	登録人口(人)	世帯数(世帯)
岩代国大沼郡桑ノ原村	明治3年3月	岩代国大沼郡桑ノ原村戸籍	149	25
岩代国大沼郡上杉原村	明治3年6月	岩代国大沼郡青組上杉原村戸籍	126	20
岩代国大沼郡海老山村	明治3年6月	岩代国大沼郡青組海老山村戸籍	35	6
岩代国大沼郡落合村	明治3年6月	岩代国大沼郡青組落合村戸籍	81	15
岩代国大沼郡菅沼村	明治3年6月	岩代国大沼郡青組菅沼村戸籍	21	4
岩代国大沼郡仁王村	明治3年6月	岩代国大沼郡青組仁王村戸籍	68	14
岩代国大沼郡小山村	明治3年6月	岩代国大沼郡青組小山村戸籍	119	20
岩代国大沼郡魚淵村	明治4年10月	辛未十月現有戸籍改帳魚淵村	191	36
岩代国大沼郡桑ノ原村	明治4年10月	岩代国大沼郡大谷組桑ノ原村戸籍	151	25
岩代国大沼郡松岸村	明治4年10月	岩代国大沼郡十五區松岸村戸籍	348	60
岩代国大沼郡在家村	明治4年10月	辛未十月現有戸籍改帳在家村	47	9
岩代国大沼郡中村	明治4年10月	辛未十月現有戸籍改帳中村	17	3
岩代国大沼郡落合村	明治4年11月	當辛未戸籍現人改帳落合村	106	20
岩代国大沼郡入谷地村	明治4年11月	當辛未戸籍現人改帳入谷地村	50	9
岩代国大沼郡上杉原村	明治4年11月	岩代国大沼郡青組上杉原村戸籍	131	21
岩代国大沼郡海老山村	明治4年11月	岩代国大沼郡青組海老山村戸籍	37	6
岩代国大沼郡大岩村	明治4年11月	岩代国大沼郡青組大岩村戸籍	55	10
岩代国大沼郡菅沼村	明治4年11月	岩代国大沼郡青組菅沼村戸籍	22	4
岩代国大沼郡仁王村	明治4年11月	岩代国大沼郡第十五區仁王村戸籍	78	16
岩代国大沼郡小山村	明治4年11月	岩代国大沼郡青組小山村戸籍	131	21
岩代国大沼郡小川窪村	明治4年11月	岩代国大沼郡尾岐組小川窪村戸籍	187	35
岩代国会津郡若下村	明治4年2月	岩代国会津郡熨斗組若下村戸籍	31	10
岩代国会津郡伊予戸村	明治4年10月	岩代国会津郡第四十二區伊予戸村戸籍	80	14
岩代国会津郡寺山村	明治4年10月	岩代国会津郡第三十八區寺山村戸籍	25	5
岩代国会津郡小松川村	明治4年10月	岩代国会津郡第三十八區小松川村戸籍	107	18
岩代国会津郡関本村	明治7年1月	若松縣管轄第一大区八小区関本村戸籍	103	25
岩代国会津郡川島村	明治7年1月	若松縣管轄第一大区八小区川島村戸籍	279	61
岩代国会津郡中荒井村	明治7年1月	若松縣管轄第一大区八小区中荒井村戸籍	326	61
岩代国会津郡熨斗戸村	明治9年5月	戸籍帳第一大区九小区熨斗戸村	107	24
岩代国会津郡長野村	明治11年1月	岩代国会津郡長野村戸籍帳	714	93
武蔵国多摩郡上田村	明治3年12月	武蔵国多摩郡上田村平民族戸籍	76	13
武蔵国多摩郡落合村	明治3年12月	武蔵国多摩郡落合村平民族戸籍	576	83
武蔵国多摩郡一ノ宮村	明治3年12月	武蔵国多摩郡一ノ宮村平民族戸籍	310	41
武蔵国多摩郡万願寺村	明治3年12月	武蔵国多摩郡万願寺村平民族戸籍	194	24
武蔵国多摩郡関戸村	明治3年12月	武蔵国多摩郡関戸村平民族戸籍	328	43
武蔵国多摩郡貝取村	明治3年12月	武蔵国多摩郡貝取村平民族戸籍	331	44
武蔵国多摩郡越野村	明治3年12月	武蔵国多摩郡越野村平民族戸籍	250	45
武蔵国多摩郡平山村	明治3年12月	武蔵国多摩郡平山村平民族戸籍	867	121
武蔵国多摩郡別所村	明治3年12月	武蔵国多摩郡別所村平民族戸籍	166	28
武蔵国多摩郡百草村	明治3年12月	武蔵国多摩郡百草村平民族戸籍	381	47
武蔵国多摩郡寺方村	明治3年12月	武蔵国多摩郡寺方村平民族戸籍	349	51
武蔵国多摩郡平村	明治3年12月	武蔵国多摩郡平村平民族戸籍	586	81
武蔵国多摩郡中野村	明治3年12月	武蔵国多摩郡中野村平民族戸籍	472	66
武蔵国多摩郡松木村	明治3年12月	武蔵国多摩郡松木村平民族戸籍	399	51
武蔵国多摩郡新井村	明治3年12月	武蔵国多摩郡新井村平民族戸籍	287	32
武蔵国多摩郡高幡村	明治3年12月	武蔵国多摩郡高幡村平民族戸籍	251	33
武蔵国多摩郡大塚村	明治3年12月	武蔵国多摩郡大塚村平民族戸籍	496	78
武蔵国多摩郡川辺堀之内村	明治3年12月	武蔵国多摩郡川辺堀之内村平民族戸籍	290	43
武蔵国多摩郡乞田村	明治3年12月	武蔵国多摩郡乞田村平民族戸籍	489	69
武蔵国多摩郡落川村	明治3年12月	武蔵国多摩郡落川村平民族戸籍	317	40
武蔵国多摩郡和田村	明治3年12月	武蔵国多摩郡和田村平民族戸籍	344	51
武蔵国多摩郡大澤村	明治3年12月	武蔵国多摩郡大澤村平民族戸籍	380	56
武蔵国多摩郡程久保村	明治3年12月	武蔵国多摩郡程久保村平民族戸籍	166	23
武蔵国多摩郡平村	明治3年12月	武蔵国多摩郡平村平民族戸籍	105	13
武蔵国多摩郡石川村	明治3年12月	武蔵国多摩郡石川村平民族戸籍	863	124
武蔵国多摩郡栗須村	明治3年12月	武蔵国多摩郡栗須村平民族戸籍	610	92
武蔵国多摩郡下柚木村	明治3年12月	武蔵国多摩郡下柚木村平民族戸籍	425	78
武蔵国多摩郡上柚木村	明治3年12月	武蔵国多摩郡上柚木村平民族戸籍	488	81
武蔵国多摩郡堀之内村	明治3年12月	武蔵国多摩郡堀之内村平民族戸籍	611	87
武蔵国多摩郡下田村	明治3年12月	武蔵国多摩郡下田村平民族戸籍	215	27
武蔵国多摩郡連光寺村	明治3年12月	武蔵国多摩郡連光寺村戸数人員取調書	890	117
武蔵国多摩郡三沢村	明治3年12月	武蔵国多摩郡三澤村平民族戸籍	329	48
武蔵国多摩郡宮村	明治3年12月	武蔵国多摩郡宮村平民族戸籍	161	25
武蔵国多摩郡石田村	明治3年12月	武蔵国多摩郡石田村平民族戸籍	158	16
武蔵国多摩郡石田新田	明治3年12月	武蔵国多摩郡石田新田平民族戸籍	59	11
武蔵国多摩郡豊田村	明治3年12月	武蔵国多摩郡豊田村平民族戸籍	569	81
武蔵国多摩郡上壱分方村	明治3年10月	武蔵国多摩郡上壱分方平民族戸籍	234	38
武蔵国都筑郡上白根村	明治3年9月	武蔵国都筑郡上白根村平民族戸籍	187	28
相模国大住郡石田村	明治3年11月	相模国大住郡石田村平民族戸籍	435	64
相模国足柄上郡柳村	明治10年1月	神奈川縣第廿一大區拾小區戸籍 相模国足柄上郡柳村	190	27
合計			18,756	2,810

る検索条件入力画面，検索結果のブラウジング画面，検索結果の詳細情報表示画面，検索結果の download 項目選択画面，および download の実行画面から構成されている。

### 3. 4. 「幕末維新时期人口史料」分析プログラム

「幕末維新时期人口史料」分析プログラムを用いて，以下 52 項目の人口学的指標を算出して，利用者側コンピュータにグラフ表示することができる[3]。

- ① 村の人口構造に関する指標…総人口，性別人口と性比，牛馬数，5 歳階級別人口，5 歳階級別年齢構造係数，年齢階層別人口，年齢階層別・性別人口，年齢階層別性比，年齢構造係数，配偶関係別人口，配偶関係別人口の構成比，宗教・宗派別人口，宗教・宗派別人口の構成比。
- ② 郡の人口構造に関する指標…総人口，性別人口と性比，牛馬数，5 歳階級別人口，5 歳階級別年齢構造係数，年齢階層別人口，年齢階層別・性別人口，年齢階層別性比，年齢構造係数，配偶関係別人口，配偶関係別人口の構成比，宗教・宗派別人口，宗教・宗派別人口の構成比。
- ③ 村の世帯構造に関する指標…世帯数と平均世帯規模<sup>1)</sup>，世帯規模別世帯数<sup>2)</sup>，世帯規模別世帯数の構成比<sup>3)</sup>，同居世代数別世帯数<sup>4)</sup>，同居世代別世帯数の構成比<sup>5)</sup>，世帯構造別世帯数<sup>6)</sup>，世帯構造別世帯数の構成比<sup>7)</sup>，牛馬所有世帯数<sup>8)</sup>，牛馬所有世帯数の構成比<sup>9)</sup>，下男下女のいる世帯数<sup>10)</sup>，下男下女のいる世帯数の構成比<sup>11)</sup>，同家人のいる世帯数<sup>12)</sup>，同家人のいる世帯数の構成比<sup>13)</sup>。
- ④ 郡の世帯構造に関する指標…世帯数と平均世帯規模，世帯規模別世帯数，世帯規模別世帯数の構成比，同居世代数別世帯数，同居世代別世帯数の構成比，世帯構造別世帯数，世帯構造別世帯数の構成比，牛馬所有世帯数，牛馬所有世帯数の構成比，下男下女のいる世帯数，下男下女のいる世帯数の構成比，同家人のいる世帯数，同家人のいる世帯数の構成比。

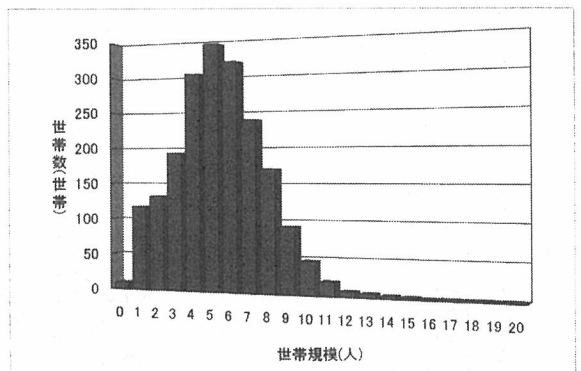
利用者側コンピュータに各指標をグラフ表示するには，Microsoft Excel のグラフ作成用マクロファイルとデータファイルをダウンロ

ードする必要がある。Excel に表示する文字コードを UTF-8 としたため，本プログラムは Excel 2003 以上に対応している。

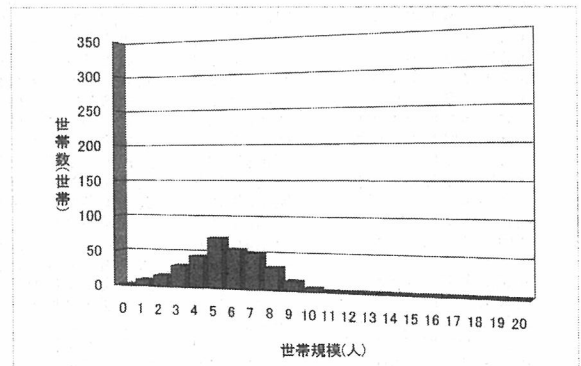
「幕末維新时期人口史料」分析プログラムのユーザー・インターフェースは，指標選択画面，データ検索画面，データの download 画面から構成されている。

### 4. 会津郡・大沼郡と多摩郡における世帯構造

岩代国会津郡・大沼郡の一部を含む旧南山御蔵入領の総人口は，18 世紀初頭を頂点として減少を続け，1780 年代から 1830 年代を底として，明治初期に人口回復傾向が顕著となった[4]。一方，多摩郡を含む武蔵国の総人口は，18 世紀初頭を頂点として減少を続け，1780 年代を底として回復を始めた。明治初期には，18 世紀初頭の人口を超え，人口増加が顕著となった。「幕末維新时期人口史料」分析システムに登録されている「戸籍」が編製された明治初期は，関東地方以北の人口回復・増加期に当たる。



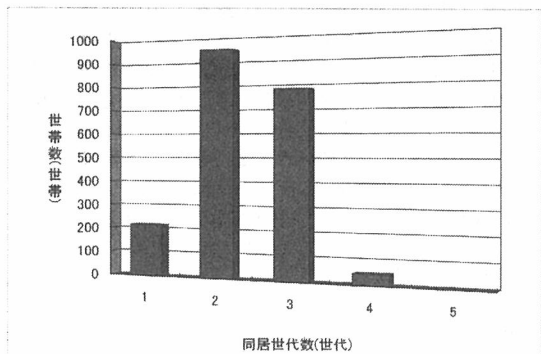
(b) 武蔵国多摩郡 (明治 3 年)



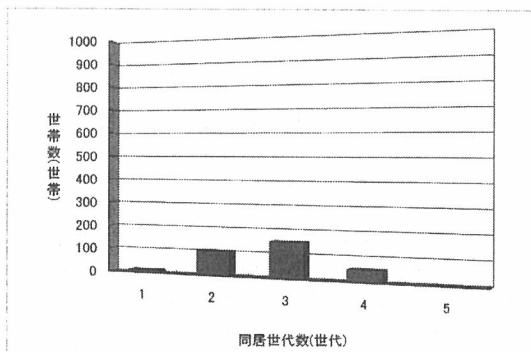
(a) 岩代国会津郡・大沼郡 (明治 4 年)

図 1 世帯規模

明治 4 (1871) 年の会津郡・大沼郡に所属する 18 ヲ村, 322 世帯のうち不在世帯を除く 321 世帯の平均世帯規模は, 5.5 人であった (図 1 (a))。一方, 明治 3 (1870) 年の多摩郡に所属する 37 ヲ村, 2,001 世帯のうち不在世帯を除く 1,992 世帯の平均世帯規模は, 5.3 人であった (図 1 (b))。明治初期の会津郡・大沼郡と多摩郡における平均世帯規模は, ほぼ同じであった。



(b) 武蔵国多摩郡 (明治 3 年)



(a) 岩代国会津郡・大沼郡 (明治 4 年)

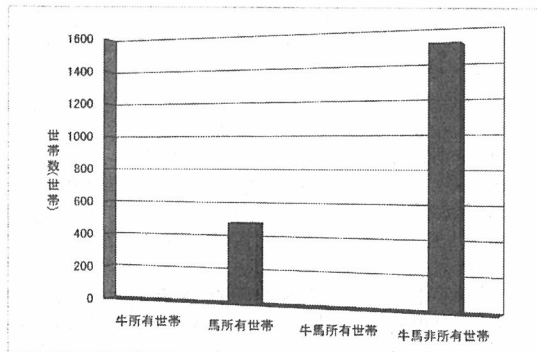
図 2 同居世代数

明治 4 (1871) 年の会津郡・大沼郡に所属する 321 世帯のうち, 1 世代同居は 11 世帯 (3%), 2 世代同居は 103 世帯 (32%), 3 世代同居は 151 世帯 (47%), 4 世代同居は 51 世帯 (16%), 5 世代同居は 2 世帯 (1%) を占める (図 2 (a))。5 世代同居世帯の実例として, 筆頭者 (33 歳), 妻 (26 歳), 女子 (6 歳), 養母 (41 歳), 養祖母 (60 歳), 養曾祖母 (78 歳) から構成される大沼郡小山村の長嶺家, 筆頭者 (45 歳), 妻 (49 歳), 長男 (27 歳), 嫁 (24 歳), 男孫 (8 歳), 次男 (12 歳), 父 (68 歳);

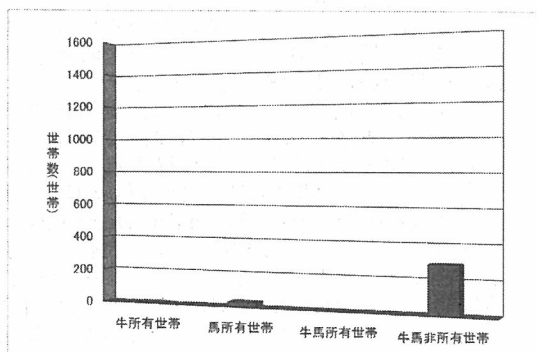
(養) 祖母 (75 歳) から構成される大沼郡上杉原村の原家をあげることができる。

一方, 明治 3 (1870) 年の多摩郡に所属する 1,992 世帯のうち, 1 世代同居は 216 世帯 (11%), 2 世代同居は 948 世帯 (48%), 3 世代同居は 781 世帯 (39%), 4 世代同居は 46 世帯 (2%) を占める (図 2 (b))。会津郡・大沼郡では 3 世代同居世帯が, 多摩郡では 2 世代同居世帯がそれぞれ卓越していた。

内務省総務局戸籍課が刊行した『日本帝国国民籍戸口表 明治十九年』の分析結果によれば, 福島県と神奈川県における平均初婚年齢には, 男女ともに約 3 歳の地域差があったとみられる [5]。家族周期に大きな影響を与える初婚年齢が同居世代数に反映して, 両地域における世帯構造の地域差が生じたとみられる。さらに, 会津郡・大沼郡では, 5 世代同居世帯の事例に示したように, 擬制的親子関係を結んでいた世帯もみられる。このような世帯は, 「イエ」の継承だけでなく, 1840 年代から顕著となった急激な労働需要に対応して, 世帯規模の拡大を図った可能性もある。



(b) 武蔵国多摩郡 (明治 3 年)



(a) 岩代国会津郡・大沼郡 (明治 4 年)

図 3 牛馬所有世帯

明治 4 (1871) 年の会津郡・大沼郡に所属する 321 世帯のうち、牛を所有していたのは 5 世帯 (2%)、馬を所有していたのは 29 世帯 (9%)、牛馬を所有していないのは 287 世帯 (89%) を占める (図 3 (a))。一方、明治 3 (1870) 年の多摩郡に所属する 1,992 世帯のうち、牛を所有していたのは 1 世帯 (0%)、馬を所有していたのは 482 世帯 (24%)、牛馬を所有していないのは 1,509 世帯 (76%) を占める (図 3 (a))。多摩郡における馬所有世帯の構成比は、会津郡・大沼郡における馬所有世帯の構成比の 3 倍近くにのぼる。DANJURO に「戸籍」が登録されている多摩郡の村々は、甲州街道日野宿周辺に位置しているため、馬が耕作以外の用途にも利用されたとみられる。

## 5. おわりに

本稿では、明治初期に作成された「戸籍」を史料として、「幕末維新时期人口史料」分析システムを構築するとともに、会津郡・大沼郡と多摩郡における世帯構造の地域差について検討した。両地域の平均世帯規模は、ほぼ同じであった。しかし、平均初婚年齢の地域差などを反映して、会津郡・大沼郡では 3 世代同居世帯が、多摩郡では 2 世代同居世帯が卓越していた。また、多摩郡における馬所有世帯の構成比は、会津郡・大沼郡の 3 倍弱に達した。史料の特徴に応じて試行錯誤的にシステム開発が続いているため、残された課題も多い。今後のシステム開発の課題を以下に列挙する。

第 1 に、史料読解から指標算出に至る研究過程の再現性を保証するため、古文書画像を「幕末維新时期人口史料」データベースに登録して、利用者がモニター画面上で文字・数値データと比較対照できるようにしたい。

第 2 に、人口・世帯構造に関わる指標を村ごとに電子地図に表示して、その地域差を検討する Historical GIS を構築したい。

第 3 に、明治 3 年「戸籍」は、史料作成以前に婚姻、養子、奉公などの理由で移動した者も、生家と移動先に二重登録されている点で貴重である。多摩郡日野宿組合村々 37 カ村の人口移動を OD 表 (Origin Destination Table) にまとめ、1 カ村の「宗門改帳」では不可能であった村落間ネットワークを分析する機能を持つ Historical GIS を構築したい [6]。

第 4 に、単年度の広域にわたる人口を登録した史料の特色を活用して、出生力を過去に遡って推計する同居児法などのプログラムを

開発することにより、人口再生産構造の地域特性を抽出したい [7]。

第 5 に、人口再生産構造と親族組織との関係を解明するため、個人の親族関係やライフ・イベントを家系図に表わす親族関係分析プログラムを改良して、インターネット上に公開したい [8]。

## 謝辞

本研究は、平成 21~24 年度、科学研究費補助金 (基盤研究 B, 研究代表者: 川口 洋, 研究課題番号: 21300098)、平成 21・22 年度、日本私立学校振興・共済事業団・学術研究振興資金 (研究代表者: 川口 洋, 研究課題: GIS を用いた「近代移行期の人口移動分析システム」の構築)、平成 21・22 年度・帝塚山学園学術・教育研究助成金・特別研究費 (研究課題: GIS を用いた近代移行期の人口移動分析システムの構築, 研究代表者: 川口 洋) の助成を受けた。篤く感謝したい。

## 注

1) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから、利用者の選択した集落、西暦における「世帯番号」と「世帯規模」を検索する。「世帯規模」が 0 でない「世帯番号」を数え、現住世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 である「世帯番号」を数え、不在世帯数を求めた。世帯規模の合計 (総人口) を現住世帯数で除し、平均世帯規模を求めた。

2) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから、利用者の選択した集落、西暦における「世帯番号」と「世帯規模」を検索する。「世帯規模」ごとに「世帯番号」を数え、世帯規模別世帯数を求めた。

3) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから、利用者の選択した集落、西暦における「世帯番号」と「世帯規模」を検索する。「世帯規模」ごとに「世帯番号」を数え、世帯規模別世帯数を求めた。次に、世帯規模別世帯数を現住世帯数で除し、100 を乗じて世帯規模別世帯数の構成比を求めた。

4) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから、利用者の選択した集落、西暦における「世帯番号」、「世帯規模」、「同居世代数」を検索する。さらに、「世帯規模」が 0 の場合を除き、「同居世代数」ごとに「世帯番号」を数え、同居世代数別世帯数を求めた。

5) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから、利用者の選択した集落、西暦における「世帯番号」、「世帯規

模」，「同居世代数」を検索する。次に，「世帯規模」が 0 の場合を除き，「同居世代数」ごとに「世帯番号」を数え，同居世代数別世帯数を求めた。最後に，同居世代数別世帯数を現住世帯数で除し，100 を乗じて同居世代数別世帯数の構成比を求めた。

6) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから，利用者の選択した集落，西暦における「世帯番号」，「世帯規模」，「世帯構造」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「世帯構造」ごとに「世帯番号」を数え，世帯構造別世帯数を求めた。

7) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから，利用者の選択した集落，西暦における「世帯番号」，「世帯規模」，「世帯構造」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「世帯構造」ごとに「世帯番号」を数え，世帯構造別世帯数を求めた。世帯構造別世帯数を現住世帯数で除し，100 を乗じて世帯構造数別世帯数の構成比を求めた。

8) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから，利用者の選択した集落，西暦における「世帯番号」，「世帯規模」，「牛数」，「馬数」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「牛数」が 1 以上，「馬数」が 0 である「世帯番号」を数え，牛所有世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「馬数」が 1 以上，「牛数」が 0 である「世帯番号」を数え，馬所有世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「牛数」と「馬数」がともに 1 以上である「世帯番号」を数え，牛馬所有世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「牛数」と「馬数」がともに 0 である「世帯番号」を数え，牛馬非所有世帯数を求めた。

9) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから，利用者の選択した集落，西暦における「世帯番号」，「世帯規模」，「牛数」，「馬数」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「牛数」が 1 以上，「馬数」が 0 である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除し，100 を乗じて牛所有世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「馬数」が 1 以上，「牛数」が 0 である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除し，100 を乗じて馬所有世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「牛数」と「馬数」がともに 1 以上である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除し，100 を乗じて牛馬所有世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「牛数」と「馬数」がともに 0 である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除し，100 を乗

じて牛馬非所有世帯数の構成比を求めた。

10) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから，利用者の選択した集落，西暦における「世帯番号」，「世帯規模」，「下男人数」，「下女人数」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下男人数」が 1 以上，「下女人数」が 0 である「世帯番号」を数え，下男のいる世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下女人数」が 1 以上，「下男人数」が 0 である「世帯番号」を数え，下女のいる世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下男人数」と「下女人数」がともに 1 以上である「世帯番号」を数え，下男下女のいる世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下男人数」と「下女人数」がともに 0 である「世帯番号」を数え，下男下女のいない世帯数を求めた。

11) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから，利用者の選択した集落，西暦における「世帯番号」，「世帯規模」，「下男人数」，「下女人数」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下男人数」が 1 以上，「下女人数」が 0 である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除して，100 を乗じて下男のいる世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下女人数」が 1 以上，「下男人数」が 0 である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除して，100 を乗じて下女のいる世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下男人数」と「下女人数」がともに 1 以上である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除して，100 を乗じて下男下女のいる世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「下男人数」と「下女人数」がともに 0 である「世帯番号」を数え，現住世帯数で除して，100 を乗じて下男下女のいない世帯数の構成比を求めた。

12) 「幕末維新时期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから，利用者の選択した集落，西暦における「世帯番号」，「世帯規模」，「同家人人数（男性）」，「同家人人数（女性）」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「同家人人数（男性）」が 1 以上，「同家人人数（女性）」が 0 である「世帯番号」を数え，同家人（男性）のいる世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「同家人人数（女性）」が 1 以上，「同家人人数（男性）」が 0 である「世帯番号」を数え，同家人（女性）のいる世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き，「同家人人数（男性）」と「同家人人数（女性）」がともに 1 以上である「世帯番号」を数え，同家人（男性と女性）の

いる世帯数を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き、「同家人人数（男性）」と「同家人人数（女性）」がともに 0 である「世帯番号」を数え、同家人のいない世帯数を求めた。

13) 「幕末維新期人口史料」データベースの「世帯情報」テーブルから、利用者の選択した集落、西暦における「世帯番号」、「世帯規模」、「同家人人数（男性）」、「同家人人数（女性）」を検索する。「世帯規模」が 0 の場合を除き、「同家人人数（男性）」が 1 以上、「同家人人数（女性）」が 0 である「世帯番号」を数え、現住世帯数で除して、100 を乗じて同家人（男性）のいる世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き、「同家人人数（女性）」が 1 以上、「同家人人数（男性）」が 0 である「世帯番号」を数え、現住世帯数で除して、100 を乗じて同家人（女性）のいる世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き、「同家人人数（男性）」と「同家人人数（女性）」がともに 1 以上である「世帯番号」を数え、現住世帯数で除して、100 を乗じて同家人（男性と女性）のいる世帯数の構成比を求めた。「世帯規模」が 0 の場合を除き、「同家人人数（男性）」と「同家人人数（女性）」がともに 0 である「世帯番号」を数え、現住世帯数で除して、100 を乗じて同家人のいない世帯数の構成比を求めた。

## 参考文献

[1] KAWAGUCHI, H. Data Analysis System for Population and Family Studies on Japan in the 17th-19<sup>th</sup> Centuries. *Japanese Journal of Human Geography*, Vol.61, No.1, pp.2-22, 2009.

[2] 川口 洋・上原邦彦・日置慎治：「幕末維新期人口史料」データベースの構築, 情報処理学会：人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, Vol.2008, No.15, pp.187-194, 2008.

[3] 川口 洋・上原邦彦・日置慎治：「幕末維新期人口史料」分析プログラムの開発, 情報処理学会：人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, Vol.2009, No.16, pp.79-86, 2009.

[4] 川口 洋：人口と社会・経済からみた近代移行期における地域変化（石原・金坂・南出・武藤編著『アジアの歴史地理 1 領域と移動』朝倉書店）, pp.79-90, 2007.

[5] 速水 融：『歴史人口学研究』藤原書店, 2009.

[6] 加藤常員・川口 洋：江戸時代における人口移動分析システムの試作（HGIS 研究協議会編, 『歴史 GIS の地平』勉誠出版, 第 12 章（印刷中））.

[7] 杉藤重信・川口 洋：親族関係分析システム「アライアンス」による「宗門改帳」分析の試み, 情報処理学会：人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, Vol.2005, No.21, pp.159-166, 2005.

[8] 黒須里美：『平成 14~16 年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)2 研究成果報告書 近代移行期の家族と地域性：庶民のライフコースと社会的ネットワーク』麗澤大学外国語学部黒須研究室, p.175, 2006.